

令和 7 年度(令和 6 年度事業対象)

## 御殿場市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価等

### <令和 6 年度主要施策報告書>

令和 7 年 10 月

御殿場市教育委員会



## 目 次

◆ 自己点検及び評価の概要 .....	1
1. 点検・評価実施について .....	1
2. (参考)関係法令の抜粋 .....	1
◆ 御殿場市教育委員会自己点検・評価 .....	2
1. 教育委員会主要行事 .....	3
2. 教育総務課 .....	5
3. 教育施設課 .....	7
4. 学校教育課 .....	9
5. 社会教育課 .....	15
6. 学校給食課 .....	29
◆ 監査委員による決算質疑の概要 .....	32
1. 決算審査の実施概要 .....	32
2. 決算に対する質疑の概要 .....	32
(1)歳入 不能欠損・収入未済 .....	32
(2)歳出 .....	33

## ◆ 自己点検及び評価の概要

### 1. 点検・評価実施について

平成 19 年 6 月に教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「法」という。)」が改正されました。

この法改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「自己点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに市民に公表することが義務付けられました。

また、地方分権改革の一環として、事務負担軽減のために、地方自治法第 233 条第 5 項の書類の作成及び議会への提出をもって法第 26 条第 1 項の義務を充足させたとしても差し支えない旨の通知が文部科学省より発出されたことから、令和 5 年度から、毎年作成し議会へ提出している「主要施策報告書」を御殿場市教育委員会の行う法第 26 条第 1 項の報告書として取り扱うこととしました。

なお、同法第 2 項への対応として、監査委員の行う教育部の決算審査を、学識経験を有する者の知見として活用し、その結果を掲載したものを自己点検・評価の報告書として公表するものです。

### 2. (参考)関係法令の抜粋

#### <参 考> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### <参 考>地方自治法 (抜粋)

(決算)

第 233 条 会計管理者は、毎会計年度、政令で定めるところにより、決算を調製し、出納の閉鎖後三箇月以内に、証書類その他政令で定める書類と併せて、普通地方公共団体の長に提出しなければならない。

2 普通地方公共団体の長は、決算及び前項の書類を監査委員の審査に付さなければならない。

3 普通地方公共団体の長は、前項の規定により監査委員の審査に付した決算を監査委員の意見を付けて次の通常予算を議する会議までに議会の認定に付さなければならない。

4 前項の規定による意見の決定は、監査委員の合議によるものとする。

5 普通地方公共団体の長は、第三項の規定により決算を議会の認定に付するに当たっては、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類その他政令で定める書類を併せて提出しなければならない。

6 普通地方公共団体の長は、第三項の規定により議会の認定に付した決算の要領を住民に公表しなければならない。

7 【略】

# ◆御殿場市教育委員会自己点検・評価

## (教育部 主要施策報告書)

教 育 総 務 課

教 育 施 設 課

学 校 教 育 課

社 会 教 育 課

学 校 給 食 課

## 1. 教育委員会主要行事

月 日	行 事 ・ 事 業	担 当 課
4 月 3 日	第 1 回ブックスタート事業(年 21 回)	図 書 館
4 月 5 日	市内小・中学校入学式	学 校 教 育 課
4 月 9 日	市立幼稚園入園式	学 校 教 育 課
4 月 22 日	文学散歩(伊豆方面)	図 書 館
4 月 23 日	市家庭教育学級開講式及び第 1 回運営委員研修会(年 6 回)	社 会 教 育 課
5 月 8 日	第 1 回楽しい子育て教室(2 歳児 11 回、1 歳児 5 回)	社 会 教 育 課
5 月 8 日	託児サービスを開始(毎週水曜日 11 時～正午)	図 書 館
5 月 11 日	野菜講座	図 書 館
5 月 15 日	青少年補導委員委嘱状交付式及び連絡会議	社 会 教 育 課
5 月 25 日	おりがみ教室(年 4 回)	図 書 館
5 月 30 日	第 1 回文化財審議会(年 4 回)	社 会 教 育 課
5 月 30 日	第 1 回青少年問題協議会(年 2 回)	社 会 教 育 課
5 月 30 日	第 1 回地域づくり活動主事連絡会(年 3 回)及び第 1 回学習講座	社 会 教 育 課
6 月 5 日	青少年健全育成会連絡協議会(年 1 回)	社 会 教 育 課
6 月 8 日	第 46 回御殿場市わたしの主張発表大会	社 会 教 育 課
6 月 12 日	御殿場市・小山町授業研修会	学 校 教 育 課
6 月 15 日	手づくり絵本教室	図 書 館
6 月 18 日	家庭教育学級第 1 回ふじざくら編集委員会(年 1 回)	社 会 教 育 課
6 月 24 日	第 1 回教育 ICT 推進委員会	教 育 総 務 課
6 月 28 日	第 1 回社会教育委員会(年 4 回)	社 会 教 育 課
7 月 1 日～ 9 月 15 日	夏に青少年を守り育てる運動	社 会 教 育 課
7 月 3 日	県内一斉夏季少年補導	社 会 教 育 課
7 月 3 日	学校図書館担当者・ボランティア合同連絡会議	図 書 館
7 月 9 日	学校専門相談医制度運営懇話会	学 校 教 育 課
7 月 9 日	第 1 回御殿場市立図書館協議会(年 3 回)	図 書 館
7 月 10 日	県内一斉夏季立入調査	社 会 教 育 課
7 月 15 日	大人向けおはなし会を初めて開催(年 2 回)	図 書 館
7 月 19 日	第 1 回生涯学習推進会(年 2 回)	社 会 教 育 課
7 月 24 日～ 8 月 28 日	夏休み宿題応援コーナー開設、夏休み読書ラリー、DVD鑑賞会、子ども統計教室、お札のひみつ、図書館員体験、高校生ビジネスグランプリ出張授業、工作会	図 書 館
7 月 25 日	夏休み 給食センター体験隊	学 校 給 食 課

7月26日	御殿場市教育フォーラム 2024	学 校 教 育 課
7月31日	第1回子ども読書活動推進会議(年2回)	図 書 館
8月2日～ 8月7日	小・中学校会計・備品検査	教 育 総 務 課
8月2日～ 8月9日	小・中学校事務検査	学 校 教 育 課
8月21日	市制施行70周年記念事業 市民大学講座開講式(年5回講座)	社 会 教 育 課
8月30日	第1回総合教育会議	教 育 総 務 課
9月9日	御殿場市図書館条例の一部改正公布	図 書 館
9月24日	放課後子どもプラン運営委員会	社 会 教 育 課
9月27日	御殿場市図書館条例施行規則の一部改正公布	図 書 館
9月28日	ふれあい広場(ふじざくら)にライオンズ号出展	図 書 館
10月20日	元気わくわく御殿場フェスタ(ふじざくら)にライオンズ号出展	図 書 館
10月29日	第2回教育 ICT 推進委員会	教 育 総 務 課
10月29日	絵本作家たなかしん原画展(11月10日まで)	図 書 館
11月1日～ 11月30日	静岡県子供・若者育成支援推進強調月間	社 会 教 育 課
11月3日	図書館まつり:窓アート、パネルシアター、おりがみ教室、ライオンズ号貸し出し体験、大人のおはなし会、クイズラリー、大型絵本展示 など	図 書 館
11月3日	絵本原画展の作家たなかしんによるワークショップ	図 書 館
11月17日	市制施行70周年記念事業「第12回青少年のための科学の祭典」富士山大会inごてんば	社 会 教 育 課
11月22日	青少年センター運営懇話会	社 会 教 育 課
11月25日	第2回総合教育会議	教 育 総 務 課
11月30日	ブックスタート20周年記念講演会 演題「絵本の楽しみ」講師:代田智子(ブックスタート理事)	図 書 館
12月3日	学校専門相談医制度合同研修会	学 校 教 育 課
12月4日	県内一斉冬季少年補導	社 会 教 育 課
12月10日～ 1月9日	年末年始に青少年を守り育てる運動	社 会 教 育 課
12月11日	社会環境実態調査	社 会 教 育 課
12月19日	御殿場市教育研究奨励賞授与式	学 校 教 育 課
1月4日	本の福袋貸出し	図 書 館
1月5日	かるた・お正月イベント	図 書 館
1月12日	令和7年二十歳の集い	社 会 教 育 課
1月29日	ブックスタート全国研修会(オンライン)	図 書 館

2月13日	第3回教育ICT推進委員会	教 育 総 務 課
2月24日	読み聞かせ学習会	図 書 館
3月1日 3月8日 3月15日	古典文学講座「源氏物語」	図 書 館
3月9日	SDGsマイクラフト	図 書 館
3月10日～ 4月9日	春に青少年を守り育てる運動	社 会 教 育 課
3月15日	市制施行70周年記念事業 御殿場方言かるた大会	社 会 教 育 課
3月18日	市立幼稚園卒園式	学 校 教 育 課
3月18日	西中学校外構整備工事完了	教 育 施 設 課
3月19日	市内小・中学校卒業式	学 校 教 育 課
	教育委員会 定例会(年12回)、臨時会(年2回)	教 育 総 務 課
	はればれダイヤル(通年)	社 会 教 育 課
	各種青少年補導(通年)	社 会 教 育 課
	青少年センターだより発行(年4回)	社 会 教 育 課
	親子おはなしの会(毎月第2・4水曜日)	図 書 館
	おはなし広場(毎週土曜日)	図 書 館
	けやきかんおはなし広場(月2回程度)	図 書 館
	図書館写真展(通年)	図 書 館
	市民芸術祭(7月～2月:全23回) 美術展、書道展、刀剣展示会、文化展、華道展、写真展、ジュニアアート展〔書道部門(小・中)・絵画部門(小・中)〕、キッズ絵画展(幼・保)、ジュニアフェスティバル、洋舞フェスティバル、邦楽のつどい、日本芸能のつどい、コーラスフェスティバル、ほのぼのコンサート、吹奏楽のつどい、アマチュアダンスフェスティバル、オープニングセレモニー、囲碁大会、小中学生将棋大会	社 会 教 育 課



## 2. 教育総務課

### 第1 主要事業

事業名 決算額(円)	概要
教育委員会 2,660,900	教育行政に関する施策、運営方針等の審議及び協議を通じ、教育機関の活性化や教育文化の充実が図られた。
総合教育会議	市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、市長が開催する総合教育会議にて意見交換を行い、教育の課題やあるべき姿の共有を図った。
小・中学校備品検査・会計検査	小・中学校の備品及び各会計の執行状況等を検査し、適正な執行管理の徹底を図った。
教育ICT環境整備事業 337,409,360	校務用パソコン、1人1台端末等のICT機器の維持管理を行い、個別最適な学び・協働的な学びの推進及び教職員の負担軽減を図った。
ICT支援員配置事業 22,737,000	GIGAスクール構想による1人1台端末の整備に伴い、端末に関するサポートや授業における効果的な活用を支援するための支援員を配置し、ICT教育の充実を図った。 また、他市町から異動してきた教員やICT機器に苦手意識を持つ教員を対象としたスキルアップ支援員を追加配置し、スキルの向上や活用格差の解消を図った。
育英奨学金貸付事業 7,170,350	高等学校・大学に進学する者に奨学金を貸与し、優秀な人材の育成を図った。令和6年度貸与中の者は、高校生2人(月額12,000円)、専修学校生(専門課程)2人(月額30,000円)、大学生17人(月額30,000円)。 令和6年4月1日現在貸付金を返済中の者は74人であった。
一般・教材備品整備事業 15,689,507	小・中学校の施設に必要な備品及び児童生徒の学習に必要な教材備品の整備充実を図った。

## 第2 事務事業

### (1) 教育委員会

区 分	令和6年度	令和5年度
教育委員会	定例会 12回	定例会 12回
	臨時会 2回	臨時会 2回

### (2) 総合教育会議

区 分	令和6年度	令和5年度
総合教育会議	2回	2回

### (3) 小・中学校備品検査

区 分	令和6年度	令和5年度
小・中学校備品検査 (廃棄備品確認含む)	小学校 11校	小学校 11校
	中学校 6校	中学校 6校

### (4) 一般・教材備品整備事業

区 分	令和6年度	令和5年度
各小学校備品購入事業	小学校 11校 一般備品 4,826千円	小学校 11校 一般備品 5,288千円
各小学校教材用備品購入事業	小学校 11校 教材・理科備品 3,696千円	小学校 11校 教材・理科備品 2,702千円
各中学校備品購入事業	中学校 6校 一般備品 3,470千円	中学校 6校 一般備品 6,170千円
各中学校教材用備品購入事業	中学校 6校 教材・理科備品 3,696千円	中学校 6校 教材・理科備品 6,563千円

### (5) 要保護・準要保護児童生徒就学援助状況 (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	212	213
中 学 校	171	176
計	383	389

### (6) 特別支援教育就学奨励費支給状況 (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	145	132
中 学 校	68	60
計	213	192

### 3. 教育施設課

#### 第1 主要事業

事業名 決算額(円)	概要
学校施設整備事業  350,747,340	教育施設・設備の整備を推進し、教育環境の改善を図った。

#### 第2 事務事業

##### (1) 学校施設整備事業

区分	令和6年度	令和5年度
小学校環境整備事業		御殿場小学校 校舎改修工事 仮設校舎借上撤去 特別教室空調設置工事
中学校環境整備事業	富士岡中学校 暫定校舎借上 御殿場中学校 校舎改修設計業務委託 原里中学校 校舎改修設計業務委託	富士岡中学校 暫定校舎借上 御殿場中学校 エレベーター設置工事 南中学校 屋外便所設置業務委託
西中学校校舎改築事業	外構整備工事 体育器具庫改築工事設計業務委託	既存屋内運動場解体工事 外構整備工事

## 4. 学校教育課

### 第1 主要事業

事業名 決算額(円)	概要
教育相談・いじめの防止 等対策事業  15,303,593	児童・生徒のいじめや不登校問題の解消を図るため、中学校区ごとに相談員を配置し、児童・生徒の悩み等を聞いたり、励ましたりすることにより、元気に登校できるよう支援活動を実施した。
外国人英語指導者配置 事業  56,848,000	市内6中学校・10小学校に、ALT(外国人英語指導者)12名をそれぞれ配置し、英語教育の充実を図るとともに、いろいろな場面で身近に外国人と接し、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を養成した。
市教育研究指定校事業  365,000	御殿場中学校・御殿場小学校・東小学校が居心地の良い学校づくり研究、富士岡小学校・富士岡中学校が授業改善研究を行った。
夢創造事業  2,448,000	心豊かな人づくりを目的とし、講演会や鑑賞会、体験活動など、各学校が子どもの実態に基づき、特色ある事業を実施し、情操教育や生き方教育の有効な手立てとなった。
児童生徒健康管理事業  15,867,948	小・中学校全児童生徒に対して、内科・耳鼻科・眼科・歯科の健診、心臓病・尿・結核等の検査を行い、疾病が疑われる者に対し精密検査を実施した。新入学児童に対しても校医の聴打診・尿等の検査を行い、疾病が発見された者に対し治療勧告をし、健康で明るい学校生活が送れるように指導した。
教職員健康管理事業  7,948,204	小・中学校の教職員等に対し、生活習慣病・指定年齢・人間ドックの健康診断を実施した。
幼児教育支援事業  113,000	幼児教育の充実、幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携、家庭教育の在り方等についての推進を図った。

## 第2 事務事業

### 1 入園・入学者状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
幼稚園	男	48	57
	女	53	58
	計	101	115
小学校	男	313	320
	女	343	319
	計	656	639
中学校	男	380	367
	女	352	374
	計	732	741

### 2 卒園・卒業者状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
幼稚園	男	65	64
	女	57	102
	計	122	166
小学校	男	372	386
	女	341	361
	計	713	747
中学校	男	399	424
	女	403	385
	計	802	809

### 3 中学校卒業者の進路状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
進 学 者	男	392	419
	女	398	376
	計	790	795
専 修 学 校 入 学 者	男	1	0
	女	1	2
	計	2	2
就 職 者 (その他を含む)	男	6	5
	女	4	7
	計	10	12
卒 業 者 総 数	男	399	424
	女	403	385
	計	802	809

### 4 中学校卒業者の進学状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
県 内 国 公 立 校	男	211	233
	女	222	213
	計	433	446
県 内 私 立 校	男	156	163
	女	146	142
	計	302	305
県 外 校	男	20	20
	女	26	19
	計	46	39
高 専	男	5	3
	女	4	2
	計	9	5
進 学 者 総 数	男	392	419
	女	398	376
	計	790	795

5 児童・生徒転入状況(市内移動も含む) (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	81	104
中 学 校	22	25
計	103	129

6 児童・生徒転出状況(市内移動も含む) (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	128	122
中 学 校	24	11
計	152	133

7 校区外就学状況(市内の指定学校変更) (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	26	29
中 学 校	11	8
計	37	37

8 区域外就学状況(他市町村にわたる学校変更) (単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	31	24
中 学 校	7	11
計	38	35

9 教育研究奨励賞

		令和6年度	令和5年度
応募状況	小 学 校	9件	10件
	中 学 校	9件	7件
	幼 稚 園	1件	2件
	保 育 園	0件	1件
	総 数	19件	20件
審査結果	最優秀賞	3点	2点
	優 秀 賞	6点	8点
	特 別 賞	0点	0点
	優 良 賞	10点	10点

10 教職員数(県費)

(単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	264	267
中 学 校	163	163
計	427	430

11 児童・生徒の脊柱側彎症検診状況

(単位:人)

	令和6年度	令和5年度
小 学 校	17	19
中 学 校	34	11
計	51	30

12 児童・生徒の尿検査状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
一次検査	小 学 校	4,127	4,258
	中 学 校	2,269	2,322
	計	6,396	6,580
二次検査	小 学 校	26	24
	中 学 校	85	66
	計	111	90
三次検査	小 学 校	1	4
	中 学 校	7	5
	計	8	9

13 児童・生徒の心臓病検診状況

(単位:人)

		令和6年度	令和5年度
一次検査	小 学 校	658	648
	中 学 校	733	738
	計	1,391	1,386
二次検査	小 学 校	26	15
	中 学 校	25	21
	計	51	36



14 児童・生徒の災害発生件数(日本スポーツ振興センター)

(単位:件)

	令和6年度	令和5年度
幼稚園	3	17
小学校	147	169
中学校	186	225
計	336	411

## 5. 社会教育課

### 第1 主要事業

事業名 決算額(円)	概要
生涯学習推進事業 2,837,369	学習情報の提供、市民大学講座等の各種講座の開催、家庭教育学級などの生涯学習推進に係る活動促進を行った。
家庭教育支援事業 1,728,172	家庭の教育力を向上するため、親のための学習を進め、親子や家庭の在り方を学びあった。
地域づくり活動事業 80,313,265	地域づくり活動を活性化するための連絡会・研修会の開催や、各地区の各種地域づくり関係団体等の活動支援を行った。
青少年教育事業 1,345,268	青少年の自主性と協調性を養うため、各種青少年関係団体等の活動支援を行った。
青少年対策事業 7,871,454	補導活動、声掛け運動、立入調査などにより環境浄化を図るとともに、青少年に関する悩み相談として青少年はればれ相談を行った。また、市内9校区10教室で、放課後子ども教室を実施した。
東山青少年広場運営事業 8,503,629	避難地としての防災機能を備え、野外活動等が行える青少年広場を運営した。
富士山市民のサロン運営事業 36,805,598	市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進し、社会教育の推進を図るため、御殿場駅前の民間施設を借上げ、「富士山市民のサロンけやきかん」を運営した。
文化財保護・活用事業 13,661,327	国、県、市指定文化財や国登録有形文化財をはじめとする市内に所在する多様な文化財の保護に努めるとともに、その調査・保存・整備・活用を図った。県・裾野市と三者共同で実施した調査成果を富士山巡礼路調査報告書須山口登山道・御殿場口登山道として刊行した。
子ども読書活動推進事業 28,000	子ども読書活動推進計画に基づき、次のような事業を実施した。 ① 図書館まつり⇒指定管理者運営事業。来館者1,863人 ② 読み聞かせ学習会⇒県読書アドバイザー(7人)を講師として学習会を開催した。3月8日開催、参加者数24人

事業名 決算額(円)	概要
ブックスタート事業  960,737	<p>保健センターで行われる6か月児健康診査の受診者を対象に、絵本や読み聞かせアドバイス集などを提供し、読み聞かせによる親子のふれあいの大切さを伝えた。提供488組(対象513組)</p> <p>ブックスタート20周年を記念し、日本子どもの本研究会会長であり、NPOブックスタート理事でもある代田知子氏を講師に迎え「ブックスタートからひろがる絵本の楽しみ」と題して講演会を行った。11月30日(土)開催、参加者数40名。</p>
図書館図書整備事業  19,997,037	<p>市民の資料・情報センターとして広い分野の図書及び視聴覚資料を購入し市民の利用に供した。また、新図書館用の図書を一部事前購入した。購入冊数は成人図書3,946冊、児童図書4,395冊、視聴覚資料31点、合計8,372点。</p>
図書館指定管理施設 運営事業  83,160,000	<p>令和5年4月から図書館の管理・運営を指定管理者に委ねた。多彩な自主事業実施、館内FreeWi-fiの提供、託児サービスの導入等利用者に寄り添ったサービスの提供ができており大変好評である。</p> <p>なお、令和4年度(実績)まで記載していた主要事業のうち、指定管理者業務としたものの実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料デジタル情報化事業……行政・市民等9件が利用</li> <li>・統計出前講座……………開催日7月21日、参加者24人</li> <li>・文学講座(古典「源氏物語」)・開催日3月1・8・15日、参加者20人</li> <li>・文学散歩(伊豆近代文学館等)・開催日4月23日、参加者23人</li> <li>・図書館資料等のリサイクル……………1,129人/4,767冊</li> <li>・中学生ボランティア・職場体験学習…実施校:3校、参加者14人</li> <li>・夏休み宿題応援コーナー……参加者:大人2人、子ども53人</li> <li>・親子おはなしの会(第2・4水曜日)……24回開催、参加者254人</li> </ul>
新図書館等整備事業  984,073,875	<p>建物の耐震強度の不足による安全性の問題、施設の老朽化による雨漏り等の多発のための修繕費用の増加、蔵書・資料の増大によるスペースの不足や図書館ニーズの多様化への対応等のため、令和3年1月に策定した「御殿場市立図書館等整備基本構想」に基づき、郷土資料館を複合化した新図書館を整備する事業。</p> <p>令和6年度は前年度に引き続き本体建設工事を進めるとともに、ユニット工事、屋外整備工事、郷土資料展示製作設置業務等に着手した。</p> <p>また、現図書館の跡利用について、地元である御殿場財産区議員や御殿場地区区長会の皆様にご意見を伺った。</p>
芸術文化振興事業  4,555,827	<p>市民が主体となって運営し、薫り高い文化の振興を図るとともに幅広い市民に発表の場を提供することを目的とした「ごてんば市民芸術祭」を開催した。また、文化活動を行う団体や次世代の担い手への支援を行った。</p>

事業名 決算額(円)	概要
文化施設運営事業  139,930,000	市民会館では、多彩なカルチャー教室、独自性のある自主事業を開催した。東山旧岸邸では、文化イベントを開催し、施設の利用促進とPRを行った。

## 第2 事務事業

### Ⅰ 各種委員会開催状況

委 員 会 名	委 員 数	開 催 数	主 な 審 議 内 容
社会教育委員会	14人	4回	社会教育に関する事業について、審議、調査・研究、指導・助言等を実施
青少年問題協議会	20人	2回	青少年健全育成に係わる総合的施策を審議、各機関や関係団体相互の連携調整を実施
生涯学習推進会	11人	2回	生涯学習推進に係る課題検討、各種団体間の意見交換
地域づくり活動主事連絡会	63人	4回	各地区地域づくり活動主事の情報交換、学習講座、視察研修を実施
青少年健全育成会連絡協議会	12人	1回	各地域の青少年健全育成団体の情報交換、青少年の健全な育成についての協議
青少年センター運営懇話会	13人	1回	青少年センターの業務内容に関する協議、意見交換を実施
放課後子どもプラン運営委員会	15人	1回	子ども達の総合的な放課後対策と放課後子ども教室事業の検討
文化財審議会	15人	4回	文化財の保護に関する審議・建議 博物館に関する調査研究、市指定文化財の指定に関する諮問に対する答申
図書館協議会	10人	3回	図書館運営に関する諮問、図書館の行う図書館サービスに関する意見交換
子ども読書活動推進会議	14人	2回	子ども読書活動推進計画に基づく子ども読書活動の推進

## 2 社会教育事業実施状況

区分	事業名	月日	参加者数	事業概要
生涯学習推進事業	生涯学習推進組織の運営事業	年間	—	生涯学習推進会の開催(2回)
	啓発・情報提供事業	年間	—	生涯学習情報みちしるべの発行や県民カレッジ連携講座の促進
	生涯学習活動促進事業	年間	—	生涯学習推進事業の奨励、生涯学習ボランティアの育成
	市民大学講座	8月21日～12月18日	延べ 288人	御殿場市の行政、文化継承、地域づくり等をテーマとした学習講座を実施(全5回)
	富士山市民のサロン運営事業	年間	—	市民の生涯学習及び多様な世代の交流を促進するため、富士山市民のサロンを運営
家庭教育支援事業	家庭教育学級運営委員研修	4月23日～1月28日	延べ 216人	家庭教育学級の運営委員向けの知識、技能の基本を習得する研修(全6回)
	楽しい子育て教室	5月8日～12月16日	1歳児 8組 2歳児 22組	親のあり方・しつけ方の指導など、親のための託児保育サービス付きの育児セミナー(1歳児5回、2歳児11回)
	保護者アシスト講座	2月	小 9校 中 5校	小中学校の新入学生の保護者を対象にした家庭教育を考える講座
地域づくり活動事業	地区地域づくり事業	年間	6地区	地区の体育・文化事業、婦人会、青少年健全育成事業などの振興
	地域づくり活動主事連絡会	年間	延べ 136人	地域づくり活動情報交換会ほか(全3回)
	地域づくり活動学習講座	5月30日 9月19日	延べ 73人	地域づくり活動・生涯学習活動の研修会・学習会を実施(全2回)

区 分	事 業 名		月 日	参加者数	事 業 概 要
青少年教育事業	青少年団体の育成		年 間	－	青少年教育団体への支援を実施
	第46回わたしの主張 発表大会		6月8日	入場者 350人	小・中学校の児童・生徒の代表が、日頃 感じていることを市民に発表する大会
	二十歳の集い		1月12日	対象者数 1,231人	二十歳を祝う式典の挙行
青少年対策事業	県内一斉夏季立入調査		7月10日～ 7月11日	88店舗	書店、コンビニエンスストア、遊技場、玩具店、携帯電話販売店他の実態把握調査
	社会環境実態調査		12月11日～ 12月12日	88店舗	
	青少年補導委員研修会		5月15日	96人	補導委員の研修(青少年補導委員委 嘱状交付式及び連絡会議内で実施)
	青少年はればれ相談 (はればれダイヤル)		年 間	41件	青少年・保護者などからの相談に基づ く適切な助言等を行う(82-8080)
	地区健全育成事業		年 間	－	地区の青少年健全育成団体活動の 促進、啓発の推進
	補導活動	街 頭	年 間	169人	38回実施
		校 区	年 間	149人	28回実施
		県内一斉	7月3日	87人	県下一斉に行う非行等の未然防止活 動(校区補導の内数)
			12月4日	65人	
	放課後子ども教室		5月～2月	9校区 10教室 150人	子どもを地域社会の中で心豊かに育 むことを目的に、放課後の居場所として 週1回程度、年間20回～26回の教室 を実施

区 分	事 業 名	月 日	参加者数	事 業 概 要
	市制施行70周年記念事業 青少年のための科学の祭典	11月17日	2,500人	青少年に身近な科学実験や工作などが体験できる場を提供し、科学の楽しさ等を通じて豊かな想像力を育むことを目的とした事業の実施【サイエンスライブ(市岡元気氏)同時開催】(会場:市民会館 出展数:19ブース)
文化財保護・活用事業	民俗資料収蔵庫管理	年 間	—	考古資料・民俗資料・富士山気象観測資料の収集、整理、補修
	指定文化財等管理	年 間	—	国・県・市指定文化財、国登録文化財の管理、国庫補助等の補助事業実施の支援、富士山巡礼路調査の実施
	深沢城跡整備事業	年 間	—	県指定史跡深沢城跡の保全
発刊物	令和5年度家庭教育学級のあゆみ『ふじざくら』	6月	140部	家庭教育学級運営の手引き及び実践記録集
	第46回わたしの主張 発表大会発表文集	3月	76部	わたしの主張発表大会で作品募集した小学生の作品10点、中学生の作品6点及び校長会長による講評や46年の歩みなどを収録した記録集
	生涯学習情報『みちしるべ』	奇数月発行 (全6回)	各回約 36,000部	広報ごてんば紙面に掲載する生涯学習関連事業情報紙



### 3 芸術文化振興事業実施状況

	部門	行事名	開催日	出品数 出演人数	入場者数等
市民芸術祭	展示部門	書道展	10月4日～ 10月6日	97点	書道作品を公募、審査し展示 入場者600人
		美術展	10月17日～ 10月20日	53点	油彩画、水彩画等の作品を公募、審査し展示 入場者500人
		華道展	10月26日～ 10月27日	85点	華道作品を公募し、展示 入場者500人
		文化展	10月26日～ 10月27日	150点	園芸・手工芸・俳句作品等を公募し、展示 入場者600人
		刀剣展示会	11月2日～ 11月4日	150点	武具刀剣の展示 入場者500人
		写真展	11月28日～ 12月1日	59点	作品を公募し、展示 入場者500人
		ジュニアアート展 (絵画部門 小学生の部、 中学生の部)	10月1日～ 10月7日 10月16日～ 10月22日	小259点 中23点	市内小学生・中学生の絵画作品を公募、審査し展示 入場者1,200人
		ジュニアアート展 (書道部門 小学生の部、中 学生の部)	10月30日～ 11月5日 11月7日～ 11月13日	小379点 中135点	市内小学生の書道作品を公募、審査し展示 入場者2,800人
		キッズ絵画展 (幼稚園の部)	2月1日～ 2月9日	117点	市内の幼稚園児の絵画作品を展示 入場者500人
		キッズ絵画展 (保育園の部)	2月11日～ 2月18日	265点	市内の保育園児の絵画作品を展示 入場者1,000人
		ジュニア フェスティバル	7月6日	9団体 188名	中学生以下の団体による演劇、ダンスなどの舞台発表 入場者800人
		洋舞 フェスティバル	7月6日	10団体 224名	バレエ、ジャズダンス、フラダンス等のグループの舞台発表 入場者800人

	部門	行事名	開催日	出品数 出演人数	入場者数等
市民芸術祭	ステージ部門	コーラスフェスティバル	7月 7日	11団体 202名	合唱グループの舞台発表 入場者500人
		ほのぼのコンサート	10月 6日	7団体 47名	大正琴・軽音楽等のグループや個人の舞台発表 入場者350人
		日本芸能のつどい	10月19日	11団体 104名	民謡、詩吟、民踊の舞台発表 入場者350人
		邦楽のつどい	10月20日	10団体 57名	日本舞踊、三曲の舞台発表 入場者350人
		アマチュアダンスフェスティバル	11月24日	5団体 112名	社交ダンスの活動をしている個人・グループによる発表会 入場者250人
		吹奏楽のつどい	2月 1日	8団体 167名	中学校・高校・一般の吹奏楽団の演奏 入場者600人
		歌謡のつどい			中止
	その他	オープニングセレモニー	7月 6日		アトラクション参加者50名 出席者500人
		囲碁大会	10月 6日	32名	市民による囲碁大会
		小中学生将棋大会	10月20日	44名	小中学生による将棋大会
		市民文芸『ごてんば』			隔年発刊(次回令和7年度)
文化芸術賞賜金交付事業			年間	1団体	文化芸術の振興のため、市を拠点として文化芸術部門の活動を行い優秀な成績を収めた高校生に賞賜金を交付するもの。

#### 4 社会教育課所管施設管理状況

事業名	令和6年度	令和5年度
市民会館指定管理料	113,530,000円	113,530,000円
東山旧岸邸指定管理料	26,400,000円	24,750,000円
東山青少年広場指定管理料	8,500,000円	8,500,000円
富士山市民のサロン指定管理料	9,900,000円	9,900,000円

#### 5 社会教育課所管施設利用状況

施設名	令和6年度	令和5年度
市民会館大ホール	40,710人	51,786人
〃 小ホール	35,976人	22,753人
〃 会議棟	58,094人	57,765人
(小 計)	(134,780人)	(132,304人)
東山旧岸邸	23,847人	24,573人
(小 計)	(23,847人)	(24,573人)
東山青少年広場炊事棟	198人	216人
〃 運動広場	301人	370人
〃 自由広場	212人	345人
(小 計)	(711人)	(931人)
富士山市民のサロン	42,973人	45,155人
(小 計)	(42,973人)	(45,155人)
合 計	202,311人	202,963人

## 6 所蔵資料

### (1)図書

分 野 別	令和6年度	令和5年度
総記	9,999冊	10,004冊
哲学	8,103冊	8,054冊
歴史	19,597冊	19,419冊
社会科学	29,237冊	29,068冊
自然科学	12,710冊	12,662冊
工学	7,765冊	7,769冊
家事	6,032冊	5,875冊
産業	5,132冊	5,072冊
芸術	15,095冊	15,016冊
言語	3,545冊	3,552冊
文学	76,190冊	76,430冊
成人図書計…a	193,405冊	192,921冊
児童書	36,779冊	36,981冊
絵本	26,374冊	26,096冊
紙芝居	1,651冊	1,607冊
児童図書計…b	64,804冊	64,684冊
郷土資料…c	23,626冊	23,349冊
外国語図書…d	1,487冊	1,484冊
計 a+b+c+d	283,322冊	282,438冊

### (2)視聴覚資料

種 別	令和6年度	令和5年度
DVD	1,370枚	1,349枚
コンパクトディスク	1,061枚	1,052枚
カセットテープ	2巻	2巻
ビデオテープ	8巻	8巻
視覚障害者用音訳 図書	1,229巻	1,228巻
点字図書	114点	113点
合 計	3,784点	3,752点

## (3)その他の資料

種 別	令和6年度	令和5年度
雑誌	110誌	116誌
新聞	18紙	17紙

## 7 登録者数

## (1)年齢区分別

年 齢 区 分	令和6年度	令和5年度
0～12歳	2,828人	3,032人
13～15歳	1,636人	1,733人
16～18歳	1,964人	2,060人
19～29歳	8,774人	8,776人
30～39歳	8,868人	8,675人
40～49歳	10,358人	10,505人
50～59歳	9,361人	8,692人
60歳以上	13,079人	11,935人
合 計	56,868人	55,408人

## (2)登録率

登録率 (登録者数÷人口)	68.11% (人口82,979人R7.3.31現在)	66.28% (人口83,592人R6.3.31現在)
------------------	--------------------------------	--------------------------------

## 8 利用統計

## (1)開館日数

館 別	令和6年度	令和5年度
本館	303日	305日
地区図書館	197日	193日
移動図書館	197日	193日

## (2)入館者数

館 別	令和6年度	令和5年度
本館	148,672人	148,666人
地区図書館	2,593人	2,553人
移動図書館	11,822人	12,730人
合 計	163,087人	163,949人

## (3)利用者数

館 別	令和6年度	令和5年度
本館	74,760人	77,046人
地区図書館	2,096人	1,983人
移動図書館	3,528人	3,596人
合 計	80,384人	82,625人

## (4)資料種別の貸出冊数

資 料 種 別	令和6年度	令和5年度
一般図書	172,279冊	174,082冊
児童図書	162,525冊	178,239冊
外国語図書	465冊	430冊
雑誌	14,715冊	15,501冊
視聴覚資料	6,354点	7,312点
合 計	356,338冊	375,564冊

## (5)館別の貸出冊数

館 別	令和6年度	令和5年度
本館	324,219冊	343,001冊
地区図書館	8,193冊	8,359冊
移動図書館	23,926冊	24,204冊
合 計	356,338冊	375,564冊

## (6)その他の統計

内 容	令和6年度	令和5年度
人口1人当りの貸出冊数	4.29冊	4.49冊
人口1人当りの蔵書冊数	3.41冊	3.38冊
人口1人当りの図書購入費	241円	120円
図書回転数 貸出冊数÷蔵書数	1.26冊	1.33冊
複写サービス	3,294枚	3,972枚
予約・リクエスト件数	13,731件	14,951件
レファレンス質問受付件数	4,467件	4,571件
他館との相互貸借・借入冊数	701冊	793冊
他館との相互貸借・貸出冊数	470冊	516冊
視聴覚コーナー利用件数	48件	0件(年間通して利用中止)
リサイクルブックス提供実績	4,818冊(常設)	4,734冊(常設)

## 9 広域利用統計

### (1)御殿場市立図書館を利用している近隣住民の登録者数(在勤・在学)

市 町 別	令和6年度	令和5年度
小山町	470人	451人
裾野市	319人	308人
長泉町	40人	39人
清水町	9人	8人
沼津市	64人	62人
三島市	51人	49人
その他市町村	247人	239人
合 計	1,200人	1,156人

### (2)御殿場市立図書館を利用している近隣住民の登録者数(広域利用)

市 町 別	令和6年度	令和5年度
小山町	1,880人	1,842人
裾野市	808人	789人
長泉町	67人	65人
清水町	18人	18人
沼津市	99人	96人
三島市	73人	69人
富士市	19人	19人
富士宮市	12人	11人
合 計	2,976人	2,909人

## 6. 学校給食課

### 第1 主要事業

事業名 決算額(円)	概要
日常の食生活習慣の育成	栄養士の学校訪問、給食だよりの発行、市ホームページへの給食の写真、給食献立表の掲載等により、学校・家庭・地域との連携を深め食育の推進を図った。
学校給食の合理的運営 158,000	学校給食センター運営委員会を開催し、保護者や学校の意見、要望を反映した。
学校給食センター施設改修事業 263,363,965	稼働後30年以上が経過し、老朽化した西学校給食センターの大規模改修事業を令和4年から令和7年にかけて実施。令和6年度は調理室の改修を行った。
学校給食費助成事業 170,348,224	児童生徒の保護者の負担軽減を目的に、保護者の負担する学校給食費を、4分の1助成する事業を令和元年10月から実施。 また、令和4・5年に引き続き物価高騰分についても市で助成した。

### 第2 事務事業

#### 1 委員会等開催

	令和6年度	令和5年度
学校給食センター 運営委員会	3回	2回
学校給食調理業務	193回	193回
調理従事者研修会	2回	2回



## 2 学校別給食対象生徒・児童人数

学 校 名	令和6年度	令和5年度
御 殿 場 小 学 校	931人	984人
御殿場南小学校	697人	695人
原 里 小 学 校	369人	434人
朝 日 小 学 校	351人	347人
玉 穂 小 学 校	332人	407人
富 士 岡 小 学 校	484人	518人
神 山 小 学 校	184人	208人
東 小 学 校	309人	317人
印 野 小 学 校	99人	97人
高 根 小 学 校	218人	236人
上 小 林 分 校	15人	17人
御殿場中学校	654人	660人
南 中 学 校	351人	405人
富 士 岡 中 学 校	424人	505人
原 里 中 学 校	346人	380人
西 中 学 校	270人	286人
高 根 中 学 校	113人	105人
合 計	6,147人	6,601人

### 3 施設管理事業

事業名	内 容
施設維持補修事業	(西学校給食センター) ストレージタンク用部品交換修繕 1,057,848円
	(南学校給食センター) 蓄冷剤用冷凍庫修繕 6,045,600円
	洗浄室LED照明交換修繕 5,610,000円
	洗浄室非常灯交換修繕 3,740,930円
	自動ドア修繕 2,310,000円
	(高根学校給食センター) 洗浄機供給装置セパレータ交換修繕 2,891,240円
施設整備事業	(西学校給食センター) 角仕切り皿特注柄購入 1,509,750円
	二重保温食缶購入 1,190,860円
	(南学校給食センター) 配送用コンテナ購入 7,590,000円
	(高根学校給食センター) 食器ご飯椀購入 522,500円
小中学校配膳室 維持補修事業	朝日小学校配膳室リフト修繕 502,150円
	御殿場小学校A棟配膳室空調機交換修繕 990,000円
	高根小学校配膳室排気ファン交換修繕 2,200,000円
南学校給食センター 建設費等償還金	建設費償還金及び維持管理・運営費 104,420,276円
施設改修事業	(西学校給食センター) 第Ⅲ期 改修工事
	調理室改修工事 84,480,000円
	調理機器購入 71,500,000円

## ◆監査委員による決算質疑の概要

### 1. 決算審査の実施概要

- ・実施日時：令和7年8月5日(火) 13:10～
- ・実施会場：御殿場市役所 5 階大会議室
- ・審査者：御殿場市監査委員 2 名
- ・被審査者：教育部各課

### 2. 決算に対する質疑の概要

(1)歳入 不能欠損・収入未済

【学校給食納付金】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
未納理由、未納者の状況(生活実態等)について。	<p>学校給食納付金の未納理由については、主に経済的困窮、保護者の疾病や家庭内事情、支払意思の希薄化等が挙げられる。</p> <p>未納者の中には生活保護や就学援助の対象外であるものの、実質的に厳しい生活状況にある世帯も含まれている。学校と連携し、個別に家庭状況を確認すると共に、福祉系の関係部署(子育て支援課等)とも連携しながら対応を進めている。</p>
どのような督促行為・滞納整理を行ったか。	<p>在学中は、学校が徴収や納付方法の相談を行っており、必要に応じて就学援助制度や生活福祉制度の活用について案内を行うなど丁寧な対応に努めている。卒業後は学校給食課が引き継いで、文書による督促や電話連絡等を通じて支払いを促している。</p>
条例第11条第1項6号の徴収停止となった1件(2,700円)の債権の状況は、どのようなものか。	<p>当該案件は、債務者が所在不明で長期間にわたり連絡が取れない状況であり、なおかつ少額の債権であるため、条例に基づき徴収停止としたもの。</p>

(2)歳出

【総務費 企画費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
御殿場方言かるた事業交付金(70万円)の概要は、どのようなものか。	実行委員会による方言かるた大会を実施。交付額は、286,026円であり、差額の413,974円を戻入した。
【教育総務費 教育委員会費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
令和6年度教育委員会定例会等での審議・協議の概要はどのようなものか。	令和6年度は、毎月の定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を2回開催。 教育行政の運営に関する方針の決定、規則の制定・改廃、予算に関する意見表明など様々な事項について審議・協議を行い、議案件数は56件であった。
【教育総務費 事務局費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
育英奨学金貸与額が前年度比121万円余増の理由は。	令和5年度をもって貸与終了が3名、令和6年度からの新規貸与者が8名で、全体の貸与者が21名。令和5年度に比べて、令和6年度は大学生が3名、高校生が1名増えたため、121万円の増となった。
育英奨学金の返還について、新たに時効を迎えた者はいるか。	新たに時効を迎えた者はいない。

【教育総務費 教育指導費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
基金や寄附金が充当されている事業は、どの事業・基金であるか。	ふるさと応援基金は、学校教育支援事業、発達障害児等支援事業、魅力ある学びづくり推進事業、外国人英語指導者配置事業に充当されており、ふるさと納税寄附金は、教育支援センター事業に 9 百万円充当されている。
学校教育充実事業での会計年度任用職員の職種は、どのようなものか。	特別支援学級補助者、通級指導教室補助者、図書館補助者の 3 職種あり、令和 6 年度は 37 人を任用した。
特別支援学級がある学校は、どこの学校か。	特別支援学級は、知的障害学級と自閉症・情緒障害学級に分かれ、知的障害学級は、高根中学校を除く全小・中学校に設置され、自閉症・情緒障害学級は、神山小学校、印野小学校、高根小学校、朝日小学校、高根中学校を除く全ての小・中学校に設置されている。
発達障害児等支援事業が前年度に比べて大きく増額となった要因は。	任用している会計年度任用職員の人数が 20 人から 22 人と、2 人増員となったこと、並びに人事院勧告による給料表の改定に伴って、当課で任用している会計年度任用職員の人件費についても増額となったことによるもの。
通常学級に在籍する、発達障害等で配慮が必要な児童生徒の状況は。	<p>該当となる児童生徒については、令和 6 年度では、小学校 356 人、中学校 186 人で、全体のおよそ 8.8%となっており、令和 7 年度では、児童生徒数が減少する中、小学校 408 人、中学校 197 人で、全体のおよそ 10.1%となり、増加傾向にある。</p> <p>発達の度合いや個々の特性は、個人によりそれぞれ異なり、きめ細かな多様な教育的支援が必要となるので、学級担任だけでは対応しきれない場面に対応するため、補助者を配置している。</p> <p>補助者が個別対応を行うことにより、対象児童生徒の適正な発達を促し、学級全体が落ち着いて授業に取り組むことが可能となっている。</p>
発達障害児支援補助者の人数は足りているのか。	<p>学校では、補助者がいればいるほど助かるという声もある中、財政的な面での考慮も必要となってくる。</p> <p>令和 4 年度に 15 人だったものを令和 5 年度に 20 人と、5 人増員し、また、令和 6 年度には 22 人と 2 人増員している。</p>
教育支援センターの利用者数は。	令和 6 年度末で 25 人の利用申請を受けており、令和 7 年度は、現在、小学校 3 人、中学校 9 人、合計 12 人となっている。

【小学校費 学校管理費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
高根小学校創立 150 周年記念事業補助金について、どのような事業が行われたか。	<p>実行委員会が組織され、市補助金、地元法人からの寄付金などをもとに事業が実施された。</p> <p>具体的には、記念横断幕設置、記念ポスター作成・掲示、航空写真撮影、紙切り作家を講師に迎え、切り絵教室・記念作品作り、大型遊具設置、記念誌の発行、11 月 9 日には記念式典も実施された。</p> <p>市からの補助金は 1,750 万円で、内 1,250 万円は財産区繰入金を財源としている。</p>
【小学校費 教育振興費】	
要保護・準要保護児童就学援助費について、対象児童数は大きく変わっていないが前年度比 168 万円余減の要因は何か。	<p>令和 5 年度・令和 6 年度を比較し、支給項目や支給金額に変更はなく、認定者数も大きく変わらないが、児童の学年により支給項目が変わるため、全体の支給額に影響が出てくる。</p> <p>令和 6 年度は、令和 5 年度に比べて 6 年生の人数が少なかったため、支給金額の大きい修学旅行費、卒業アルバム代、中学校入学前支給の金額が減となり、決算額の減となった。</p>
【社会教育費 社会教育総務費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
放課後子ども教室(放課後子どもプラン)推進事業について、前年度比 24 万円余(8.2%)の増であり、9 校 10 教室で、学習支援を行っており、学童保育のことであると思うが、待機児童等を含めた、教室の開催状況、児童の利用状況は。	<p>放課後子ども教室は学童保育ではなく、すべての子どもが対象(主な対象は小学生)であり、放課後や週末などに実施し、実施回数は自由である。</p> <p>児童の利用状況は、対象学年は教室により異なるが、小学校は主に小学 3 年生の児童が対象であり、中学校は全学年が対象で、令和 6 年度は 150 名が参加した。</p> <p>教室の利用率は 40%から 93%と教室によってバラつきがあるが、全体としては、募集人数に対して参加率は 75.5%となっている。</p>
指定管理者制度を、図書館、けやきかん、市民会館、東山青少年広場、東山旧岸邸で採用している中で、図書館及びけやきかんは、令和 8 年から 12 年の 5 箇年で昨年度公募して決まっているのか。また、モニタリングは適正に行っているのか。	<p>図書館及びけやきかんは、令和 8 年度から令和 12 年度の 5 箇年で昨年度公募して決まっている。</p> <p>けやきかんについてのモニタリングは年 2 回(10 月下旬、3 月下旬)実施している。具体的には、書類確認・現地での管理運営状況確認・指定管理者へのヒアリング後、結果を 2 週間以内に通知している。また、年度末に生涯学習推進会による利用者モニタリングを実施している。</p>

【社会教育費 文化財費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
富士山巡礼路須山口・御殿場口登山道調査研究事業等に要した経費は報告書を作成したのか。	報告書を作成した。今年度は、県富士山世界遺産センターが開催する速報展や世界遺産セミナー等で調査成果が活用され、富士山を通して御殿場の魅力が県内外の多くの人々に発信されることが期待される。
(仮称)御殿伝承地歴史広場整備事業の事業の具体的な内容と要した経費の内訳は。	<p>本事業は、御殿場の地名発祥の地とされる御殿場区内の御殿場コミセン周辺の御殿伝承地において、御殿場財産区が所有する土地約 3,000 m<sup>2</sup>余を活用し、令和 9 年度夏の開園を目指して幅広い年代の市民が歴史を学ぶとともに憩いの場となる広場を整備するもの。</p> <p>令和 6 年度は、債務負担により令和 7 年 5 月末までの契約により基本計画策定業務を株式会社乃村工藝社に委託して策定に着手し、広く市民の声を募り計画に反映させ計画段階から機運醸成と理解・合意を形成し使い勝手の良い広場を目指すため、ワークショップを開催した。</p> <p>参加者の構成は御殿伝承地に隣接する県立御殿場高校生徒、御殿場区役員、境内の一角が御殿伝承地となっている吾妻神社の氏子会、御殿場区の子育て世代の女性、御殿場財産区議員、市文化財審議会委員など合計 20 名からなり、令和 6 年度中は 10 月、12 月の 2 回開催した。なお、令和 7 年度に入り 4 月に 3 回目のワークショップを開催し、これら成果を反映させて策定された基本計画が 5 月末に納品された。</p> <p>次に要した経費の内訳は、指名競争入札により基本計画策定業務を落札した株式会社乃村工藝社と令和 6 年 6 月 20 日に 9,405,000 円の債務負担の委託契約を結び、令和 6 年度分として 5,643,000 円の委託料を支出した。</p>

【社会教育費 図書館費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
<p>図書購入費を倍増した要因・背景は。</p>	<p>図書購入費を倍増した要因・背景については、新図書館開館に合わせ、約 3 万冊の本などの購入を考えているが、この中で、現在図書館にあるが、日焼けや経年劣化で新図書館の書架に並べるのにはふさわしくない本も少なくない。</p> <p>このような本で内容的には新図書館にも置きたい本は買い替えることになるが、出版年が古い物は出版社にも在庫がなく、買い替えができないことも増えている状況。</p> <p>このようなことから、新図書館用に購入する本の買い替えができなくなるリスクを少しでも回避するため、一部を前倒しして購入したものである。</p>
【社会教育費 芸術文化振興費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
<p>市民芸術祭事業が、前年度比 42 万円余(19.5%)の減額の要因・背景は。</p> <p>市制施行 70 周年記念と連携した活動は。</p> <p>参加者の動向に変化はあるか。</p>	<p>減額の要因は、令和 6 年度が市民芸術祭の文芸部門として隔年で募集・刊行を行っている市民文芸ごてんばの創作期間に当たり文芸部門の支出が無かったこと、ステージ部門の 1 部門が中止になったことである。</p> <p>次に、市制施行 70 周年記念と連携した活動としては、オープニングイベントにおいて、出演者の子どもたちなども交えて、ステージ上で御殿場音頭を踊るなど、コロナ禍を経て本格的に再開される市民芸術祭について、記念事業の冠を配することで、参加者の機運の醸成に努めた。</p> <p>参加者の動向の変化は、ステージ部門を中心に各団体における高齢化が進み参加者の減少傾向は否めない状況である。一方、市民会館指定管理者主催のカルチャー教室の生徒や、市文化協会や市民芸術祭とは馴染みの無かった団体が新規で申し込んでくる例もあり、参加者も多様化している。</p>



【学校給食費 給食センター運営費】	
質 疑	教 育 委 員 会 回 答
<p>これまで会計年度任用職員の確保が課題となっていたが現状はどうか。</p> <p>人手不足による業務への影響は。</p>	<p>近年、調理員の確保は厳しさを増しており、特に採用希望者の減少と高齢化が顕著である。令和 7 年度は、調理員を確保できているが、過去には、慢性的な人手不足の傾向があり、シフト調整や西学校給食センターと高根学校給食センター間の応援体制により業務を継続していた。</p> <p>また、突発的な欠員等では業務負担が偏る場合もあり、今後とも、職場環境の見直し、採用広報の強化などにより、人材確保の安定化を目指していく。</p>
<p>賄材料費への物価高騰の影響と今後の見通しは。</p>	<p>昨今の物価高騰は、主に食用油、肉類、乳製品等の価格に大きく影響を与えており、給食費の枠内での献立作成が一層困難となっている。</p> <p>令和6年度までは献立の工夫や、物価高騰対策の国庫補助制度の活用等により対応してきたが、令和7年度は、学校給食費(保護者負担)の見直しに向けて、事務を進めている。引き続き、適切なコスト管理に努めつつ、栄養バランスの確保を優先する。</p>
<p>令和 6 年度御殿場市立南学校給食センター調理等業務包括委託に伴う公募支援業務(アドバイザー業務)の内容はどのようなものか。</p>	<p>御殿場市立南学校給食センターの PFI 事業の契約期間が令和 8 年 3 月末をもって終了することを受けて、施設維持管理、調理運営、厨房設備等の更新・維持管理を担う民間事業者の選定に当たる支援を行う業務である。</p> <p>具体的には、事業者の募集に係る資料の作成から選定された事業者との契約の締結に至る一連の業務の支援となる。</p> <p>内、令和 6 年度の業務内容は、①募集要項の作成、②要求水準書の作成、③事業者決定基準の作成、④様式集の作成、⑤契約書(案)及び基本協定書(案)の作成、⑥募集要項等への質問に対する回答作成支援、⑦審査委員会の審査支援、⑧打合せ協議等である。</p>

令和 7 年度(令和 6 年度事業対象)

御殿場市教育委員会  
教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価等  
＜令和 6 年度主要施策報告書＞

令和 7 年 10 月

御殿場市教育委員会